

# 街づくりだより ひがしぐち



発行(三十五号)

平成二十一年 一月十九日

長野市 駅周辺整備局

電話 〇二六(二二四)五一九四

主な記事

ごあいさつ

長野都市計画長野駅周辺第二土地区画整理

審議会委員決定について

ごあいさつ

駅周辺整備局長 竹前 正人

新年明けましておめでとう  
ございます。

昨年は、米国のサブプライム問題に端を発した百年に一度と言われている金融危機により、数万とも数十万とも言われている非正規労働者が職場を追われ、東京・日比谷公園に出現した「年越し派遣村」の光景はショッキングなニュースでありました。

このような不況を脱するには全治三年とも言われておりますが、「革新は混沌の世から」「夜明け前は一番暗い」とも言われています。

本年は景気回復の元年とな

るような国の施策に期待をするとともに、明るく希望に満ちた、そして、将来に展望が描けるような、そんな一年になることを祈念しております。

さて、長野駅周辺第二土地区画整理事業につきましては、事業開始から十六年目を迎え、都市計画道路や新たに換地された権利者の皆様が住宅を建設するまちづくりの槌音があちこちから響いており、新しい町並みが日々広がりを見せております。

近年は多くの権利者の皆様のご理解とご協力によりまして、急速に事業が進展しております、事業の進捗度合いを示します、仮換地指定率は昨年十一月末現在で63.3%と進み、建物移転率も54.4%、また、

道路など公共施設整備率も42.7%と言う状況になりました。

今後さらに長野駅東口のポテンシャルを活かしたまちづくりを進めるため、事業のより一層のスピードアップを図ることは勿論のこと、全地域にお願しております集团的移転整備をさらに進め、安全で快適な都市基盤整備と土地利用の高度化に引き続き取り組んでまいります。

この他にも、地域の皆様によつて組織されております、「長野駅東口地域街づくり対策連絡協議会」略して「対連協」と呼んでおりますが、この協議会において実施したまちづくりアンケートの結果を基に、理想のまちづくりに向け具体的な課題と対策を研究

するため、「長野駅東口地域街づくり研究会」を発足され精力的に活動していただいております。

研究されているテーマは、「水と緑・アダプトシステム」「安全安心・閑静な住宅街」「元気な商店街」及び「歴史と文化を活かした街づくり」の四部会で、それぞれのテーマごとに作業部会を編成し、先進地視察や専門家を講師に迎えた勉強会などを開催しながら活発に検討をされております。

これから研究会における成果につきましては、対連協の皆様と協議を重ねた上で、住民との協働のまちづくりの観点から、できうる限り実現に向け努力して参りたいと思つて

おります。

本年も職員一丸となり、事業促進に取り組んで参りますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとりまして本年が良一年になりますようご祈念申

し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



長野都市計画

長野駅周辺第二土地区画整理審議会委員決定について

土地区画整理法に基づく長野駅周辺第二土地区画整理審議会委員が決定いたしました。

審議会委員選挙に届出のあった候補者の数が、宅地の所有者から選挙される委員及び、宅地について借地権を有する者から選挙される委員それぞれの委員定数を超えなかつたため平成二十年十二月二十一日の選挙は投票を行わないこととなり、翌二十一日に当選

人を決定し、公告、通知いたしました。

学識経験委員は、平成二十一年一月十八日付で、事業について学識経験を有する者のうちから、三名を市長が選任いたしました。

土地区画整理審議会の会長、会長職務代理者は、平成二十一年二月二十三日に開催予定の改選後最初の審議会において委員の互選で決定されます。

【当選人】

(届出順)

宅地の所有者からの当選人

中御所	篠原重夫
中御所	青沼欣一郎
北中	倉石光将
七瀬	松林忠夫
七瀬	太田忠仁
七瀬	依田充弘
北中	石井健之
栗田	竹村健治
栗田	青沼幸一
栗田	峯村茂

宅地について借地権を有する者からの当選人

七瀬	宮下忠男
七瀬	奥谷真一

【学識経験者】

弁護士	高井新太郎
一級建築士	橋詰利子
元長野市職員	内田将夫

【任期(五年間)】

平成二十一年一月十八日から平成二十六年一月十七日まで

「ひがしぐち」は事業関係者に配布しています。配布漏れ等ございましたらお知らせください。